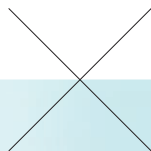


信頼の力を未来へ

Building trust, empowering our future

女性
会計士



社外
役員



jicpa



日本公認会計士協会 近畿会

的確な分析力・判断力をもつ、百戦錬磨の女性会計士。 社外役員として様々な企業を支えています。

1987年、全国に先駆けて近畿会に女性会計士委員会を創設し、2019年からは日本公認会計士協会の副会長、近畿会会長に就任し、公認会計士業界の魅力向上と後進育成に尽力してきました。監査法人退職後は、公認会計士としての会計・監査の知見や経験などを生かし、企業の役員の一員としてコーポレート・ガバナンスの一端を担い、企業の持続的成長や中長期的な企業価値の向上に貢献したいという思いと、企業を取り巻く環境が不確実な状況のもと、守りと攻めのガバナンスを実践したいという思いをもって、社外役員に就任いたしました。

現在、上場会社(プライム)3社の社外役員を務めています。取締役会では、企業の成長と企業価値向上のため、資本コスト、資本収益性や株価を意識した経営ができているか、事業ポートフォリオの見直しや経営資源の配分が適切か等について議論しています。その際、公認会計士としての視点からの会計処理だけでなく、M&Aでの事業計画の検討、のれんの評価、買収後の課題の認識・対応、設備投資の採算性や事後的なモニタリングについても意見を述べています。監査法人時代に、事業リスクや内部統制等について社長や

北山 久恵

現在、上場会社(東証プライム)3社の社外役員

- 指名委員会等設置会社の社外取締役(監査委員会委員長)
- 監査役会設置会社の社外取締役
- 監査役会設置会社の社外監査役

1986年 公認会計士登録
1999年 監査法人のパートナーに就任
2013年 監査法人の常務理事就任
2019年 日本公認会計士協会 近畿会会長(～2022年6月)

2019年 日本公認会計士協会 副会長(～2022年7月)
2020年 監査法人定年退職
北山公認会計士事務所 開設(現在に至る)
2021年 兵庫県立大学大学院社会科学部 会計専門職専攻 特任教授(現在に至る)



覚悟をもって研鑽中。
社外役員の役割を果たす
企業の成長と価値向上のため

経営企画部などと議論し、不祥事発生の際には監査責任者として対応してきた経験が役立っています。

また、社外役員として適切で有効な発言をするためには、情報収集と関係者との連携が欠かせません。そのため、社外役員間で情報交換したり、平時から現場に赴いたり、各部署との意見交換にリモートで参加したりして積極的にコミュニケーションをとるよう心がけています。特に、グローバルに展開している企業の場合、グループ経営、グループガバナンス体制の強化は重要な課題であり、迅速な情報収集・課題の共有・早期解決に取り組めるよう、三様監査(監査役等監査、会計監査人監査、内部監査)の連携を深めています。

そして、どの企業においても「ダイバーシティの推進」は重要な経営戦略です。取締役会等において、女性会計士として多様性の一部を担いつつ、自分自身が異なる視点の意見もしっかり受け止め、自分の中で消化したうえで対話し、議論を深めることに留意しています。新たな視点はイノベーション創出やリスク管理に重要です。企業内のダイバーシティや女性活躍推進のために、女性役員候補者や管理職の育成の研修や懇談会で後押しすることも自分の役割と考えています。

社外役員には、経営戦略や組織体制など「経営全般」を理解し、企業の持続的成長や中長期的な企業価値の向上のために、社長(執行部)の気づきを促すような質問を行い、経営の意思決定の質を高めることが期待されています。このような役割を果たすには、かなりの時間と労力を使う覚悟が必要であり、研鑽は今も続いています。

監査法人に勤務していた頃は、会計監査人として取締役会議事録などを閲覧し、取締役の方々とのコミュニケーションを行い、企業への理解を深めましたが、その目的はあくまでも会計監査です。現在、社外役員の立場で取締役会などに出席することになり、意思決定プロセスの理解度の違いを痛感しています。スキルや経歴の異なる社外役員が協力して、会社の持続的成長に貢献することが重要ですが、その中で、私の社外役員としての役割は2つあると考えています。

まず、財務情報等の信頼性の観点から、会計・監査の専門家として、会計監査人との各種報告は、会計・監査の専門用語を多く含むため、公認会計士である監査役が補足するほうが他の監査役等にとって理解しやすくなる場合があります。また、会計監査人へ提供すべき情報や確認すべき事項がある場合には、他の監査役等と事前に内容共有の上、会計監査人の理解がより深まるようなコミュニケーションを行うよう心がけています。

正田 鏡子

現在、上場会社(東証プライム)2社の社外役員

- 監査役会設置会社の社外監査役

1995年 公認会計士登録
2019年 監査法人退職、正田公認会計士事務所 開設(現在に至る)
2021年 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授(現在に至る)

実力主義の監査法人で幾多の難局を乗り越え、現在、社外役員として活躍中の5人の女性会計士を紹介します。適度な距離感で信頼関係を築きつつ、会社の課題や事業リスクについて、遠慮せずソフトに質問し意見する。これができるのは女性会計士特有かもしれません。社外役員登用をお考えの際は、女性会計士を検討されてはいかがでしょうか。

もうひとつの役割は、企業の成長のための助言です。取締役会や常勤監査役から得た情報をもとに、会計の観点から気を配るように努めています。

また、非常勤の立場であるため、役員業務以外の時間もあります。これらの時間も役員業務に対して良い影響をもたらすよう、積極的に活用していこうと考えています。たとえば、大学院では、公認会計士などを目指す学生や、財務知識を深めたい社会人学生に対し、実務家教員として会計・監査の講義を行っています。学生とのディスカッションを通じて、学生たちの多様な意見や素朴な疑問を聞くことは私にとって大きな刺激となっており、このような経験も社外役員の業務に生かしたいと思います。

2023年、ある監査法人が「女性が活躍する会社BEST100[®]」のBEST10にランクインするなど、会計士業界は早くから女性活躍推進のため様々な施策に取り組んできました。女性会計士としてこのような経験も、何らかの形で会社のお役に立てることができれば幸いです。

※女性が活躍する会社BEST100:女性誌「日経WOMAN」と日本経済新聞社グループの「日経ウーマノミクス・プロジェクト」が実施する「企業の女性活用量調査」の結果をもとにした総合ランキング。



今の活動による経験や学びを、
役員業務に生かすことを課題に。



女性会計士は空気を読まない？
いえ、読んでいますよ。

監査法人時代は管理職として、東証プライム企業の監査からスタートアップ支援まで幅広く従事しました。女性の監査主任は初めて、という会社も多かったです。

社外役員として就任した現在も、取締役会で女性は少数もしくは私一人であることもあります。特段気にせず発言しています。監査法人時代、会計処理や内部統制上の課題につき、時には難しいお話も交えクライアント企業と意見交換してきた経験が活かしているのだと思います。スタートアップの常勤取締役と監査役、上場企業の取締役(監査等委員)と監査役に就任するなど、様々な立場で経営に参画してまいりました。会計監査、経営ガバナンス等、知見を有する専門家として、さらに研鑽していきたいと考えています。

吉川 和美

現在、上場会社(東証プライムと東証グロース)2社と上場準備会社1社の社外役員

- 監査等委員会設置会社の社外取締役(監査等委員)
- 監査役会設置会社の社外監査役
- 監査役会設置会社の社外監査役(常勤)

1999年 公認会計士登録
2019年 監査法人退職、吉川和美公認会計士事務所 開設(現在に至る)
2020年 上場準備会社の管理担当常勤取締役(～2022年9月)

上場(準備)会社において、会計専門家としての知見、ダイバーシティ推進の観点から、女性会計士が常勤監査役に就任するケースが増えてきました。また、常勤監査役としての実績を経て、他社の非常勤役員となる場合も多くなります。常勤監査役として経営陣に対峙した経験、他社の非常勤役員を兼務すること等で得られる客観的視点は、社外役員としての言動により深みを与えると期待されます。

公認会計士としてのあらゆる経験が社外役員の務めに生きている。

中小規模の会社の社外役員として、縦割りになりがちな各部署をつなぐ役割を担いつつ、それぞれの立場に配慮しながら、会社のガバナンス向上につながる体制構築を支えていきたいと考えています。

そのため、監査法人時代に様々な会社・役職の方々と交渉してきた経験やバランス感覚に加え、社外役員就任後に培ったヒアリング力や気配り、粘り強さと図太さを発揮して、地道に社内ネットワークを切り拓き、重要な情報が正確かつタイムリーに入るよう働きかけています。

軽微に見える事象も大きな問題の前兆かもしれません。客観的かつスピード感ある判断が求められる社外役員という役割には、常に緊張感を伴いますが、大きなやりがいを感じています。

小田切 智美

現在、上場会社(東証スタンダード)1社と上場準備会社2社の社外役員

- 監査役会設置会社の社外監査役(常勤)
- 監査役会設置会社の社外取締役
- 監査役会設置会社の社外監査役(常勤)

2004年 公認会計士登録
2019年 監査法人退職
2021年 小田切智美公認会計士事務所 開設(現在に至る)

スタートアップを支えて奮闘。
ガバナンス構築の議論にも参加。

設立数年の会社の常勤監査役に就任し、監査法人時代に培った洞察力や会話力、独立後のベンチャー支援経験、持ち前の長気質や忍耐力をフル活用して、会社の土台を監査役立場から支えています。

組織を整備する役割は経営執行側にあるというルールの中、監査役はどのように立ち振る舞うか、主体的に作戦を立てて執行側に橋渡しすることを心がけています。これには社外役員への情報共有やディスカッションによる協力体制も必要であり、監査役会や社外取締役がガバナンス機能をより発揮しやすくするための連携にも力を入れています。

組織の構築段階から議論に参加してきたことで会社への理解が深まり、常勤監査役業務の充実へとつながる好循環を実感しています。

関 美緒

現在、上場準備会社1社の社外役員

- 監査役会設置会社の社外監査役(常勤)

2006年 公認会計士登録
2011年 監査法人退職
2019年 せき公認会計士事務所 開設(現在に至る)

近畿会 会長・副会長よりのごあいさつ

政府が公表している「女性版骨太の方針2023」では、女性活躍、多様性の確保は、個性と能力を最大限に発揮できる社会の実現に不可欠であり、イノベーションの創出と事業変革の促進を通じて企業の持続的な成長、日本経済の発展に資するものとしています。これを受けて東京証券取引所もプライム市場の上場会社に対して2030年までに女性役員比率を30%以上にするなどを求めています。女性活躍は、国家的な課題であり、上場会社にとっては、最優先で取り組まなければならない経営課題の一つとなっていると思います。

近畿会では、古くから女性会計士委員会を立ち上げて女性会計士の活動を広げるための活動を続けてきました。その成果もあり、女性会計士の割合は徐々にではありますが増加傾向にあります。また、様々な領域で活躍する女性会計士の努力により数の増加をはるかにこえてその存在感は、ますます大きくなっていると思います。

ここで紹介する女性会計士は等身大の姿を提供してくれています。女性会計士を社外役員として活用することは、会計の専門家としての能力に加えてイノベーションや事業変革に繋がる女性としての新たな視点を提供してくれるものであり、企業の持続的な成長のための不可欠な存在となるものと思います。



会長 後藤 紳太郎

社外役員には、業務執行から独立した立場で、中長期を見据えた幅広い多様な視点から、市場や産業構造の変化を的確にとらえ、会社の持続的な成長に向けた経営戦略を考えることが求められています。

私たち公認会計士は、社外から客観的に経営状況を見る経験が豊富であり、経営の透明性や健全性に寄与でき、社外役員に適任の存在であると考えています。加えて、これまでと異なる意見、豊かな感性を提供できる女性会計士であれば、組織文化の多様性を促進し、会社の持続可能性向上に大いに貢献できると考えています。

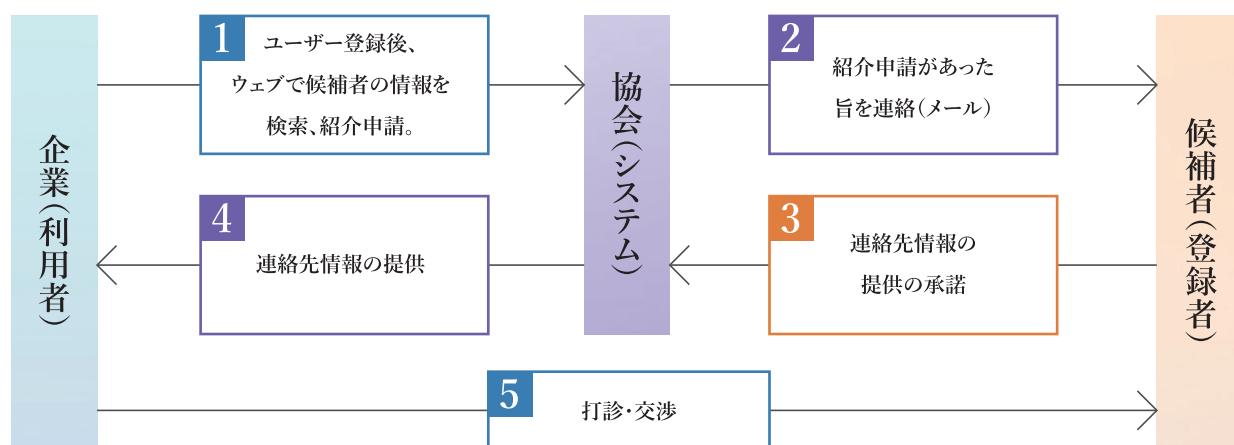
現在、我が国における女性のリーダーシップの場での活躍は十分とは言えません。今回5人の女性会計士をご紹介しますが、さらに多くの女性会計士が社外役員として活躍することで、会社内の女性社員の意識も変革させ、我が国社会をより魅力的なものにすると思っています。



副会長 安井 康二

社外役員候補者紹介システムのご案内

日本公認会計士協会では、社外役員(独立社外取締役(監査委員又は監査等委員を含む)並びに独立社外監査役)に公認会計士の登用をご検討している企業に対し、公認会計士を紹介する「社外役員候補者紹介システム」の運用を行っています(紹介料無料)。紹介までの流れは以下の手順 **1**～**5** のとおりです。是非ご利用ください。



今後の制度運用の参考とするため、交渉後の結果については、事務局宛てにメールでご一報いただけますと幸いです。
なお、当協会から企業及び候補者それぞれに照会させていただくことがあります。

企業の担当者の皆様へ

社外役員に公認会計士の登用をご検討中の企業の担当者様は、ユーザー登録(利用条件に同意いただき、企業情報等をご入力いただく)を行うことで、ウェブサイトから候補者(公認会計士)の情報を検索し、紹介を申請することが可能です。

詳細はこちらをご覧ください



会員の皆様へ

当協会の会員(準会員を除く)で公認会計士社外役員ネットワーク会員(正会員・賛助会員)の方は、候補者としてご登録いただくことが可能です。

詳細はこちらをご覧ください

